

第53回日本神経精神薬理学会年会
一般演題採択結果

領域を超えた分類

演題番号	登録番号	発表日	時間	発表者(敬称略)	所属機関名	演題名
P4-1	10019	9月7日 (木)	16:30~ 17:30	新井田 惇	東京歯科大学水道橋病院障害者歯科・口腔顔面痛研究室	PRTFDC1発現に関わるrs12411980一塩基多型は幻歯痛と有意に関連する
P4-2	10033			池宮 博子	順天堂大学医学部附属順天堂医院	非がん慢性疼痛治療目的のオピオイド鎮痛薬使用におけるウェアラブルデバイスをを用いた睡眠評価
P4-3	10036			添田 萌	東京歯科大学講座口腔健康科学講座障害者歯科口腔顔面痛研究室	慢性疼痛は、自己免疫疾患に関与するPAR2およびIL-17Aの一塩基多型と有意に関連する
P4-4	10049			姜 裕奈	公益財団法人 東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト	TMEM132C遺伝子rs7296262多型は、がん性疼痛及び術後痛に対するオピオイド鎮痛薬で誘発される嘔気の発現と有意な関連を示した
P4-5	10059			田口 啓太	岩手医科大学附属病院 脳神経内科・老年科	リチウム中毒による薬剤性不随意運動の一例
P4-6	10075	9月8日 (金)	17:20~ 18:20	西澤 大輔	東京都医学総合研究所	ゲノムワイド関連解析 (GWAS) による術後嘔気嘔吐に影響する遺伝子多型の同定
P4-7	10110			古家 宏樹	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部	新生仔期MK-801投与は成体ラットの社会的相互作用を障害する
P4-8	10118			木元 瞳	星薬科大学薬理学研究室	摂食障害および脳内炎症が認められるがん病態モデルにおける視床下部セリンプロテアーゼネットワーク異常の解析
P4-9	10132			中武 優子	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部	幼少期トラウマ刺激が成体期の情動およびストレス脆弱性に及ぼす影響
P4-10	10133			林 和子	慶應義塾大学・文学部	マウスにおける柔軟な行動の切り替えにヒスタミンH3受容体逆作動薬ピトリサントが及ぼす影響